

会議名	令和6年度 琴浦町地域公共交通会議
日時	令和7年2月3日（月）10：00～11：15
場所	琴浦町本庁舎 第1会議室
出席者	委員：17名（順不同）＋オブザーバー1名 福本まり子委員（会長）、徳丸淳史委員、田中富恵美委員、朝倉孝好委員、馬野忠篤委員、小泉傑委員、朝倉武寿委員、岩本昭一委員、精山誉志委員、榎田勝充委員、大林正明委員、池口興延委員、尾坂浩太委員（代理）、河原裕司委員、桑本真由美委員、大田晃弘委員、米村学委員 オブザーバー：岡本博文氏（日ノ丸自動車）
内容	1. 開会 2. あいさつ 福本町長 3. 報告事項 （1）琴浦町営バス利用状況について （2）交通空白地タクシー利用料助成事業の状況について （3）安田地域づくり協議会交通空白地有償運送の状況について （4）JR浦安駅の整備について 4. 協議事項 （1）上郷・倉坂地区における交通空白地有償運送について 令和7年度から本格実装 （2）令和7年度琴浦町営バス再編について 別紙のとおり ※協議事項については全て承認 5. 今後のスケジュール等 町営バス運行管理業務委託契約手続き 鳥取運輸支局変更・登録申請 町報3月号にて再編内容について周知 町報4月号にて新時刻表を全戸に配布。併せてHP等で周知を行う。 6. その他 別紙意見の通り 7. 閉会

報告事項に対する意見

委員	・バス利用者はスクールを含むか。経費は人件費等を含むか。
事務局	・利用者はスクール以外的人数。経費は人件費等全て含んだ額。
委員	・タクシー助成は片道か。利用者が少ないようなので今後実施方法の見直しを検討してはどうか。
事務局	・片道（1乗車あたり）。実施方法の見直し（金額・範囲等）については検討する。
委員	・タクシーの経営状況は厳しい。車両をいかに長く使うかと合わせて、地域の方の利用をお願いする。
委員	・助け合い交通ことうら R6 夏から利用者が減少。理由について今後のドライバー会議で検証。
委員	・駅舎整備後のメインは北と南どちらになるか。
事務局	・これまでどおり北側がメインと玄関口となる。
委員	・駅の利用者、内訳は。
事務局	・駅利用者は約500人でほぼ学生。
委員	・一番利用する学生の意見を聞いて新しい駅舎に活かして。
事務局	・設計にあたり学生からも意見募集を行った。また Liqlid を活用して幅広く意見募集を行い、明るく雨風がしのげる、フリースペースなどに反映している。
委員	・現在のトイレの場所が分かりづらい。
事務局	・掲示板に表示しているが、掲示方法について JR と協議する。

協議事項に対する意見

委員	・実験中のリース料が高額なので精査を。
事務局	・実験期間は短期間のためレンタカー扱いの価格。年間リースになると安価になることは確認しているが業者と交渉する。
委員	・A I デマンドを見送った理由と今後の見込、次期運行委託の年数、トライアルまでとトライアルからアパートへの経路は。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・A I デマンドについてはバス車両の利用が必須のため、費用対効果、利用者の利便性を考慮しても時期尚早と判断。今後一切入れないということはなく、検討は続ける。 ・委託年数はこれまで同様3年間。 ・浦安駅から9号線を通してトライアルに。アパートへは通常の野井倉線等のルートで運行。
委員	・トライアルには休憩場所がない。椅子でも置けないか。
事務局	・可能かどうかトライアルと協議する。